

日本橋「ゆかり」野永三代目の和食塾を開催

「うま味活用レシピ」福島県の夏野菜編



野永先生のセミナーの様子

「和風ジャーニャー肉味噌」、福島県産きゅうり、なす、いんげん、ピーマンを使用した「福島夏野菜の塩うま炒め」が紹介されました。参加者は試食をしながら、レシピの実演と先生のトークに聴き入っており、終了後には「とても美味しかったです」などと笑顔で感想を話してくれました。

またセミナーと同時に、福島県産夏野菜の即売会も行われ、福島県産品の美味しさを存分にPRしました。

8月22日（火）、東京大手町J Aビル4階にあります農業・農村ギャラリで、日本橋「ゆかり」野永三代目による「和食塾」が開催されました。



ミニマルシェも同時開催しました

Farming Information

今月の営農情報

生産資材部

「鉄入り土づくり肥料 田んぼマスター」のご案内

今年もまもなく米の収穫シーズンを迎えます。

おいしいお米を作る基本は「土づくり」であることはみんなが知っています。知ってはいてもなかなか実践できないのも「土づくり」ですね。

「土づくり」は通常の気象年はもちろん、異常高温や異常低温の時ほどその効果が発揮されることは周知のとおりです。県内の水田の地力が低下してきていると言われて久しいですが、土づくり肥料・堆肥やイナワラ等の有機質を施用して、「おいしい福島の水」づくりができる水準を維持していかねればなりません！

そこで今回は、今年度から新規取扱いになりました鉄入り土づくり肥料「田んぼマスター」についてご紹介いたします。従来の土づくり肥料とはちよつと視点が違う肥料です。来年度からお試しいただければ幸いです。

【成分(%)】
リンサン 4
マンガン 1
ケイサン 14
鉄 10



- 【特長】
- 鉄分を10%と多く含み、わきによる根の傷みを軽減します。
 - カリは、く溶性と水溶性を約半量ずつ含み、作期を通して働きます。
 - 併せて、放射性セシウム吸収を抑制します。
 - ケイサンは、倒伏軽減、病気や虫の害の軽減、高温時の葉の温度を下げる効果、食味向上効果等があります。
 - クドは、葉緑素の構成元素として光合成能を向上します。

食味向上効果もあります。

マンガンは、こま葉枯れ病の予防に役立ちます。

9月にお届けする材料を使用したレシピです

豚肉とじゃがいもの甘辛炒め

JA ふれあい食材
おすすめ
レシピ



- 材料は2人分が基準になっております。
- 盛付例はイメージです。

※材料の野菜がない場合は家庭にあるお好きな野菜をお使い下さい。

材料

- ・麓山高原豚肩切落し..... 150 g
- ・じゃがいも..... 2～3 個
- ・唐辛子（輪切り）..... 1 本分
- ・ごま油..... 大さじ 1
- ・塩・こしょう..... 各少々

- にんにくのすりおろし..... 1/2 片
- 砂糖..... 大さじ 1
- 酒..... 大さじ 2
- しょう油..... 大さじ 2
- みりん..... 大さじ 1
- 酢..... 大さじ 1/2

作り方

- ①じゃがいもは皮をむいて一口大に切る。平らな皿に並べてラップをし、電子レンジで約4分加熱し柔らかくする。
- ②Aを混ぜ合わせておく。
- ③フライパンを温めて、ごま油と唐辛子を入れる。油が温まったら豚肉を入れて炒める。
- ④豚肉に火が通ったら、じゃがいもを入れて少し焼きめをつけながら炒め、塩・こしょうをふる。
- ⑤②を加え入れて混ぜ合わせる。

今月のイベント

9月2日	管理部	北日本くみあい飼料と牛枝肉共励会
9月4日	米穀部	米穀事業推進委員会
9月7日	畜産部	全国和牛能力共進会（～11日）
9月8日	生産資材部	中古農機展示会
9月9日	管理部	おいしいふくしまいただきますフェスティバル
9月15日	畜産部	畜産女性部研修会
9月28日	畜産部	第50回記念JAグループ福島枝肉共励会

ラジオ福島

「農家の皆さんへ」

午前5時15分～25分
放・送・予・定

- 9月4日 燃料部 LPガスで快適生活
- 9月5日 米穀部 営農相談室
- 9月11日 畜産部 家畜市場価格について
- 9月12日 園芸部 営農相談室
- 9月18日 生産資材部 稲わら腐熟促進剤について
- 9月25日 米穀部 平成29年産集荷販売について



東北地方の長期予報



<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

天気は数日の周期で変わりますが、年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。

向こう1か月の平均気温は、東北太平洋側で平年並または低い確率ともに40%です。降水量は、平年並または多い確率ともに40%です。日照時間は、平年並または少ない確率ともに40%です。

週別の気温は、1週目は、東北日本海側で平年並または低い確率ともに40%、東北太平洋側で低い確率50%です。2週目は、東北日本海側で平年並または低い確率ともに40%、東北太平洋側で低い確率50%です。3～4週目は、平年並または高い確率ともに40%です。

<気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>

8月26日～9月25日			
【気温】東北日本海側	30	40	30
東北太平洋側	40	40	20
【降水量】東北地方	20	40	40
【日照時間】東北地方	40	40	20

<気温経過の各階級の確率(%)>

8月26日～9月1日・東北日本海側	40	40	20
・東北太平洋側	50	30	20
9月2日～9月8日・東北日本海側	40	40	20
・東北太平洋側	50	30	20
9月9日～9月22日	20	40	40

凡例：低い（少ない） 平年並 高い（多い）
（仙台管区气象台 発表）

編集後記

賑やかなセミの声から、スズムシの声が響く季節となりました。8月に雨天が続いたせいか、今年は夏が短かった気がしますね。

四季を感じさせる「虫の声」ですが、「声」と認識するのは日本人特有だそうです。外国の人は虫の鳴き声を雑音と認識し、気が付かないこともあるのだとか。幼少期に覚えた母国語の影響もあるようですが、秋の虫の声について『あれマツムシが鳴いている～』と口ずさみたくる日本人は少なくないはず。

集中豪雨など、年々増えている異常気象が他人事ではなくなってきた今日この頃。予想できない天候に不安を覚える一方で、変わることなく秋の夜長に響く虫の声に、少しほっとした気持ちにもなる、今日この頃です。